

ATACでは年に1～2回地元の企業を見学し、ものづくり技術の勉強に役立てています。

2014年8月8日にATACメンバー5名で兵庫県丹波市のダンロップスポーツ株式会社市島工場を見学しました。

同社は、1930年神戸工場において国産初のゴルフボールと硬式テニスボールの生産を開始した、ゴルフボール生産の老舗です。2003年に住友ゴム工業のスポーツ事業部門が分社独立、主にゴルフ用品、テニス用品の製造および販売を行っています。1995年阪神淡路大地震によって神戸工場が被災し、丹波市の市島町に移転しました。

市島はJR福知山から福知山線を篠山口に向かって2駅、自然の豊かなところで、田んぼを囲むように入り組む低い山々の一角に市島工場が在ります。

以前のゴルフボールは中心のコア部分に糸ゴムを巻き、外側のカバーを硬い樹脂で覆っていましたが、現在ではコア部分は主に球状の合成ゴムで出来ています。コ

ア部分とカバー部分の2層構造にしたものをツーピースボール、コアとカバーの間にミッド（中間）層を入れて3層構造にしたものをスリーピースボール、性能・用途に応じてフォーピースボールまで有ります。

次に工場を見学しました。材料の配合、計量押出、ボール型製作（カバー・ディンプル形成）、印字・検査・梱包まで一貫生産しています。この工場では、2005年に埋め立て廃棄物をゼロにして「完全ゼロエミッション」を達成、自然豊かな風景に馴染んでいると感じました。

工場見学後には、工場横に設けられたゴルフ科学センターで実打テストを体験しました。（写真）飛距離、ボールの初期条件、打撃音などを計測解析し、打者のスイング解析も行い、ボール・クラブの設計開発に役立てています。

今回は華やかなゴルフトーナメントを支えるゴルフボール工場を見学でき、市島工場の皆様にご挨拶をいたしました。

（野村）

